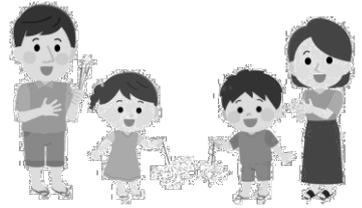


夏の手持ち花火会を開きます

8月25日(日)午後6時～



夏の夕暮れのひととき、手持ち花火をみなさんで楽しみます。子どもさんに限らず、「ムカシの子ども」さんも…あの頃にもどって、一緒に楽しみましょう。

多くの皆様のご参加をお待ちしております。

◆日時：8月25日(日)午後6時～7時

◆場所：ホーユウパレス玄関前、来客駐車場



昨年の花火会の一コマ(2023年7月23日)

- 8月7日(水) 案内配布、ポスター掲示
 - 8月21日(水) 参加申込み締め切り
 - 8月25日(日) 夏の手持ち花火会(当日)
- ※「受付票」を持参し、受付(集会室)に提示します
- ・「参加します」の方は、花火会場へご案内
 - ・「飲食物のみ希望」の方は、「飲食物」をお渡し

暮らしのメモ帳

清々しい朝の空気を吸いにベランダに出ると、どこからともなくタバコのおい。ちょっとだけ気分が削がれます。

絶好の洗濯日和に、はりきって洗濯や布団干し。いざ取り込もうとした途端、天気が良いのに雨が…?どなたかが水を…?お日様いっぱい乾いた布団の端がしっとりと濡れてしまい、いささかしょげました。床に入りうとうとしてきた頃に、掃除機の音が…。気になってしばらくは眠りにつけませんでした。

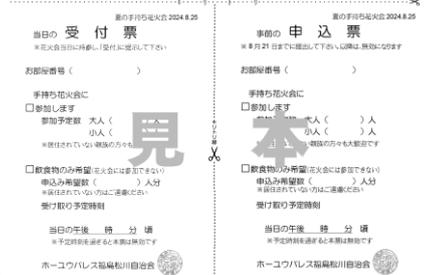
集合住宅は、上下・左右に住戸がつながっています。本マンションの場合、お隣とは厚さ18cmの壁一枚で仕切られています。また、天井の20cm上にはお隣の床が、床の20cm下にはお隣の天井があります。

だから、うっかりしていると気づかぬうちに他の居住者の方々に迷惑をかけてしまうことがあります。

右の見本にある「申込書」「受付票」で参加などを受け付けて実施します。詳しくは、8月7日に配布予定の花火会案内をご覧ください。

また、右下のホームページからもさらに詳しい内容がご覧いただけます。

なお、当日の子ども花火や飲食物のお世話をしているただける方を募っています。お手伝いをいただける方は、8月21日までに管理事務所へお申し出ください。



<https://hyppfm.lsv.jp>

草取り、ごみ拾い、周辺側溝の土砂上げを行いました

= 6月2日、全市一斉清掃日 =

6月2日(日)は全市一斉清掃日でした。早朝の7時に集合。参加



者の中で女性は、主に南側近辺のごみ拾いと草取り作業を行いました。男性は、敷地周辺の側溝の土砂上げ作業。草やゴミは、45Lのポリ袋いっぱいになりました。側溝の土砂は、写真の通りでした。参加者は、11名でした。ご参加ありがとうございました。

新刊図書を購入する予定です (自治会)

気軽にご利用ください＝ミニ図書館と新書のご紹介

集会室のミニ図書館に、話題の本を購入し、皆さんに楽しんでもらっています。直木賞、芥川賞、本屋大賞、ノンフィクション大賞を受賞した作品を主として購入する計画です。

集会室の蔵書はおよそ 2,000 冊以上。

小説はもちろん、マンガから図鑑など様々なジャンルの書籍が並んでいます。

皆さん、ぜひお気軽に足をお運びください。

「図書カード」で管理 ～図書の貸し出し～

集会室には、2,000 冊以上のミニ図書館があります。小説はもちろん、マンガから図鑑など様々なジャンルの書籍が並んでいます。

図書は、貸し出しています。

- ① 「図書カード」に、お名前と書名、返却予定日を記入してください。
- ② 記入した「図書カード」を、専用ファイルにとじて、本を借りてください。
- ③ 本を返したら、「図書カード」をファイルからはずして持ち帰ります。お名前などの個人情報に残りません。(保護されます)



ツミデミック 一穂ミチ(著)

第二回直木賞受賞作！大学を中退し、夜の街で客引きをしている優斗。仕事中に話しかけてきた大阪弁の女は、中学時代に死んだはずの同級生の名を名乗った——「違う羽の鳥」。失業中で家に籠もりがちな恭一。小一の息子・隼が遊びから帰ってくる。聖徳太子の描かれた旧一万円札を持っていた。近隣の一軒家に住む老人にもらったというそれを煙草代に使ってしまった恭一だけが——「特別縁故者」 鮮烈なる「犯罪」小説全6話

【入荷済み！】



バリ山行 松永K三蔵(著)

第一回芥川賞受賞作。古くなった建外装修繕を専門とする新田テック建築に、内装リフォーム会社から転職して2年。会社の付き合いを極力避けてきた波多は同僚に誘われるまま六甲山登山に参加する。その後、社内登山グループは正式な登山部となり、波多も親睦を図る気楽な活動をしていたが、職人気質で変人扱いされ孤立しているベテラン社員妻鹿に、危険で難易度の高い登山「バリ山行」に連れて行ってもらおうと……。「山は遊びですよ。遊びで死んだら意味ないじゃないですか！ 本物の危機は山じゃないですよ。街ですよ！ 生活ですよ。妻鹿さんはそれから逃げているだけじゃないですか！」(本文より抜粋)

【7月下旬入荷予定】



サンショウウオの四十九日 朝比奈秋(著)

第二回芥川賞受賞作！同じ身体を生きる姉妹、その驚きに満ちた普通の人生を描く、芥川賞受賞作。周りからは一人に見える。でも私のすぐ隣にいるのは別のわたし。不思議なことはなにもない。けれど姉妹は考える、隣のあなたは誰なのか？ そして今これを考えているのは誰なのか——三島賞受賞作『植物少女』の衝撃再び。最も注目される作家が医師としての経験と驚異の想像力で人生の普遍を描く、世界が初めて出会う物語。

【8月上旬入荷予定】



朝比奈秋

サンショウウオの四十九日

同じ身体を生きる姉妹、その驚きに満ちた普通の人生

芥川賞受賞

医師でもある気鋭が描く、世界が初めて出会う物語